

市記入用

指定管理者評価シート(第1次評価)

所 管 課	市民生活部生活活性室文化・観光・スポーツ課
評価対象期間	平成26年4月1日～27年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	別紙参照
	所 在 地	別紙参照
	設置目的	スポーツ及びレクリエーションを通じて体育の普及及び振興を図り、市民の心身の健全な発達に寄与するため
利用料金制		非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制
指定管理者	名 称	(公財)川西市文化・スポーツ振興財団
	所 在 地	川西市火打1-1-4
指定管理業務の内容		<p>指定管理の業務内容を明確に記入してください。</p> <p>(1) 社会体育施設及び東久代運動公園の設置目的を達成するための事業の実施に関する業務</p> <p>(2) 社会体育施設及び東久代運動公園の使用の許可、その取消しその他社会体育施設及び東久代運動公園に関する業務</p> <p>(3) 社会体育施設及び東久代運動公園の使用料の徴収及び減免に関する業務</p> <p>(4) 社会体育施設及び東久代運動公園の使用料の還付に関する業務</p> <p>(5) 社会体育施設及び東久代運動公園の維持管理並びに付属施設び維持管理に関する業務</p> <p>(6) その他社会体育施設及び東久代運動公園の設置目的を達成するため市長が必要と認める業務</p>
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日 (市民体育館・市民運動場は平成26年4月1日から平成28年7月31日まで)

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント	評価レベル
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	B
(1) 施設の設置目的である事業運営の達成	B
<p>事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果が得られているか。</p>	A
<p>利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。</p>	B
<p>施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。</p>	B
<p>[所見]</p> <p>事業計画に基づき、概ね設置目的に沿った事業を実施していた。全体の使用件数、使用人数が前年度と比較し共に減少しているのは、災害により東久代運動公園を長期休園していた影響であると考えられるが、施設ごとにみると、総合体育館で前年度と比較し使用人数が減少、また弓道場でも使用件数、使用人数等が共に減少しており、原因の精査が必要であると考え。それに対し、市民温水プール等、使用件数、使用人数が増加している施設も見られ、広報での新しい取組などが一定の効果があったと推察できる。</p>	
<p>[改善項目]</p> <p>今年度は災害により東久代運動公園を長期休園した影響が大きかったが、市全体の施策の中でスポーツを楽しむ市民の数を増加させていけるよう、今後とも市と連携し要因を分析するとともに、日頃スポーツをしていない人へのアプローチ等を検討していただきたい。</p>	

(2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	A
施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。	B
実施された事業への参加者数の増が図られたか。	A
[所見]	
<p>施設の目的に則って、さまざまなスポーツ教室等の開催や、卓球・バドミントン等の個人使用を実施する等、一定の目的は達成していた。また、スポーツ教室等の参加者総数が前年度と比較して807人(2.69%)増加していることは一定の評価ができる。</p>	
[改善項目]	
<p>スポーツ教室等の事業については、今後も市民ニーズを的確に把握し、プログラム内容もちろん、教室開催の曜日・時間帯・料金等も十分精査しながら、参加者の増加に努めていただきたい。</p>	
(3) 利用者の満足度	A
利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	A
利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られたか。	B
利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	A
その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果が得られたか。	B
[所見]	
<p>財団独自でアンケート調査を実施し、利用者ニーズの把握に努めた。アンケートの結果は、施設の備品・設備面では前年度と比較し「満足」の回答が増加している。また、職員の窓口対応についても「満足」「やや満足」の回答が8割以上を占めており、評価に値する。</p>	
[改善項目]	
<p>施設の老朽化が進む中で、利用者の満足度を上げることは大変困難であるが、今後ともアンケートの結果を十分に分析し、利用者の声を真摯に受け止め、サービスの向上に努めていただきたい。</p>	

評価項目及び評価のポイント	評価レベル
2 効率性の向上に関する取組み【効率性】	A
(1) 経費の節減	A
<p>施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みがなされ、その効果が得られたか。</p>	A
<p>指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるような工夫がなされたか。</p>	A
<p>[所見]</p> <p>消費税増税に伴い電気料金が継続的に値上げされる中、前年度に引き続き利用時間帯の点灯照明数の減やその他節電に取り組んでおり、総合体育館で前年比使用量5.28%減を達成している。また、東久代運動公園の災害時工作物撤去を、民間事業者委託や重機等を一切使わず、職員自らの手で実施していること、さらに再委託先の選定については見積合わせや仕様書の見直し等を実施していること等、経費節減への努力が伺える。</p>	
<p>[改善項目]</p> <p>引き続き、積極的に経費節減に取り組んでいただくとともに、既存の取組み以外にも、様々な角度から節減が可能か検討していただきたい。点灯照明数を減らす取組みについては大きな効果は上げているが、行き過ぎると館内が暗く感じられる等、利用者へのサービスの低下につながる可能性もあることから、利用者の安全面はもとより、経費の節減とサービス向上のバランスに十分配慮しながら取り組んでいただきたい。</p>	
(2) 収入の増加 利用料金制を採用している場合のみ評価	評価なし
<p>収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果が得られたか。</p>	
<p>[所見]</p>	
<p>[改善項目]</p>	
(3) 収支のバランスなど 利用料金制を採用している場合のみ評価	評価なし
<p>収支のバランスが適切であったか。</p>	
<p>経費の効果的、効率的な執行が行われたか。</p>	
<p>収支の内容に不適切な点はなかったか。</p>	
<p>[所見]</p>	
<p>[改善項目]</p>	

評価項目及び評価のポイント	評価レベル
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	A
(1) 管理運営の実施状況	A
施設の管理運営には、適切な人員配置がされたか。	A
業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。	A
施設の維持管理が適切に行われたか。	A
指定管理者の提案による新たな取組みは実施されたか。	B
<p>[所見] 必要最小限の予算で、概ね適正な人員配置が行われていた。 研修は適宜行われ、職員の資質向上に努めていた。 緊急の修繕にも柔軟な予算対応する等、限られた予算の範囲で施設の維持管理に努めていた。 自主イベント「3on3」においては、前年度並みの41チームの参加で開催できたことは一定評価できる。一方で、文化部門との合同事業は参加者が少なく、内容を精査する必要があると考える。</p>	
<p>[改善項目] 施設の老朽化が進む中、修繕については今後とも市と密接に情報交換を行い、限られた予算の範囲内で、必要性、優先順位等をを明確にし、計画的に実施していただきたい。 文化部門との合同事業は、より効果的なPR方法、また、既存の活動団体との連携等を検討しながら、参加者の増加に努めていただきたい。</p>	

(2) 個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	A
施設の設置目的に応じた効果的な利用者への情報提供・広報活動が十分になされたか。	B
施設利用者の個人情報の取扱いが適切に行われたか。	A
日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。	A
防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。	A
事故発生時や非常災害時の対応が適切であったか。	A
利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮されたか。	B
利用者が限定される施設では、利用者の選定が公平で適切になされたか。	A
<p>[所見] ホームページや広報誌、折り込みなど、様々な媒体を通じ必要な情報は発信されている。インターネットについては、ホームページのほか、即時性に優れたSNS等の研究を進めていただきたい。</p> <p>個人情報の取扱いは適正に行われていた。</p> <p>大きな事故がなく1年間施設の管理運営ができたことは、日頃の安全管理の徹底の賜物と評価できる。</p> <p>各施設とも機械警備を導入し、一定の防犯対策が取られている。また、東久代運動公園では、大雨等による河川の増水対策として、年に1回、施設の撤去訓練を実施しており、実際に8月の台風11号のときも、河川の水位を的確につかみ、撤去が行われたため、グラウンドは冠水したものの、施設の被害は最小限で済んだ。</p> <p>施設予約システムにおいて、利用者が平等に抽選申込みが出来るようシステム化されている。利用者の多い時間帯は当選しづらい状況が続いているが、施設のキャパシティの問題等が影響しており、解決は簡単ではない。</p> <p>教室等の参加者の選定については、財団ホームページやパンフレット、広報誌等により告知し適正に行われている。卓球の個人使用や人気のある教室について、引き続き公平な取り扱いをしていただきたい。</p>	
<p>[改善項目] 施設の老朽化が進行し、利用者の高齢化が進むなか、より一層安全面に注意を払って施設の管理運営をしていただきたい。 また、施設の利用において、引き続き平等、公平な取り扱いを念頭に対応していただきたい。</p>	

総 合 評 価

[所見]	評価ランク	A
<p>前年度と比較し、全体の使用件数が4.5%、使用人数が3.8%、使用料収入が1.3%と減少しているものの、これは8月の台風11号による災害で使用不可となった東久代運動公園の影響が大きく、全体の減少分が、同公園の減少分を下まわっていることを考慮すると、休園がなければ前年度以上の数値であったことが推察できる。</p> <p>一方、自主事業については、施設の目的に則って、さまざまなスポーツ教室等の開催や、卓球・バドミントン等の個人使用を実施する等、一定の目的は達成していた。また、スポーツ教室等の事業については、事業収入、受講者数とも前年度比増(60,514円、807人)となっており、一定の評価ができると思う。</p> <p>全体的には、事業計画に基づき、概ね適切な事業の遂行並びに予算執行をしたと認められる。今年度は消費税増税による光熱水料費の値上げにより、結果として、指定管理料を50万円増額することとなったが、当初計画した予算の範囲内で年間事業を遂行しながら不用額を捻出し、生じた不用額について可能な限り修繕費や光熱水料費に流用し対応している状況から、経費節減への努力が伺える。</p> <p>また、1年間通して、大きな事故がなく、施設の管理運営ができたことは、日頃の安全管理の徹底の賜物であるといえる。今後、市民ニーズがますます多様化する一方で、施設の老朽化が進行し、利用者の高齢化が進むことから、一層の注意を払い維持管理運営にあたっていただきたい。</p> <p>平成26年度の総合的評価としては、全体をとおして、非常に安定かつ継続的に事業を推進できたといえる。今後とも、生涯スポーツの推進や健康づくり等、少子高齢化や多様なライフスタイルに対応した市の施策を展開できる施設を目指していただきたい。</p>		
<p>[改善項目]</p> <p>施設の老朽化という大きな課題がある中、大変難しい事業運営が求められるが、文化部門との調整を上手く図りながら、更に効率的な運営を目指していただきたい。</p>		